

やお・かしわら **環山楼** (かんざんろう)

環山楼は享保年間(江戸時代中期)、八尾寺内村の豪商であった石田利清が設けた庶民のための私塾である。当時は幕府の奨励もあって儒学熱は広く庶民にまで及び、河内周辺でも懐徳堂や含翠堂など町人のための私塾が相次いで開設された。享保12年(1727)、当代一流の儒学者であった伊藤東涯が含翠堂に来講したおり八尾を訪れ、利清の別荘で講義したのが



八尾市指定有形文化財の環山楼

所在地：八尾市本町 1-1-65 (八尾小学校正門横)

最寄駅：近鉄大阪線 八尾駅下車 南へ徒歩約 10 分

見学：毎週水・土曜日及び祝日 (3～11月)

10:00～16:00 無料

問合せ：八尾市教育委員会文化財課 Tel.072-924-8555

機縁となり、以後この別荘が私塾として使用されるようになった。東涯は周囲に山を巡らせた景勝の地に立つ学舎を「環山楼」と名付け、扁額と「環山楼記」という一文を贈っている。およそ半世紀にわたり八尾をはじめ近郷の学問の拠点として重要な位置を占めていた。現在、市立八尾小学校の敷地内に移築されている遺構は、昭和56年より1年をかけて解体修理され、ほぼ創建当時の姿に復元されたものである。八尾市指定有形文化財。 (新田俊明)